

連合三多摩 地球温暖化防止に向けたCO2削減の取り組み

～ わたしたちが地域でやること、できること ～

三多摩エコニュース



連合エコライフ 21 ココちゃん

VOL. 139

2022年度政策・制度要求に対する 自治体からの回答を一部ご紹介します！！

2021年に提出を進めた「2022政策制度要求」に対して各自治体の回答が届きはじめ、地区協・政策PTを中心に確認を進めています。すべての回答が揃う前ですが、地球環境政策の振り返りと自治体の回答を一部ご紹介いたします。

1. 地球温暖化防止対策に向けて (1) 2030年までに東京都の掲げる 2000年比で温室効果ガスの30%削減に 対する目標値と具体的施策

＜立川市＞公共施設における温室効果ガスの排出量を2030年までに2013年度比で40%以上削減を目指しています。また、市域全体の温室効果ガス排出量削減のため、民生家庭部門・民生業務部門・市役所自らの率先行動を3本柱として取り組んでいます。



2. 資源循環型社会の実現について (1) 3R(リデュース・リユース・リ サイクル)取り組み推進

＜三鷹市＞「三鷹市ごみ処理総合計画 2022 第1次改定」に基づき、ごみ減量のための優先順位を定め、3Rを推進しています。取り組みの結果については、広報みたか・ホームページなどを通じて公表しています。



(2) 循環型社会の構築を目指した 水資源の節約・有効利用について

＜小金井市＞排水設備計画届出時に雨水浸透ますの設置を積極的に依頼しています。その他、昭和63年8月以前の既存住宅への設置促進のための助成制度を設けています。



(3) プラスチックの不適正処理が行わ れないよう、周知を図るとともに、プ ラスチックの持続可能な利用に向けた取 組みを推進すること。

＜清瀬市＞市民の皆様から集めた容器包装プラスチック類等で排出されるものの中には、リサイクルできない多くの不適合物が混入していることがあります。そのため分別マニュアルの更新を行い、市民にもわかりやすいようにイラスト等での説明を増やし、周知を図っています。また、適切に分別されていないご自宅への訪問を実施し、分別方法を丁寧に説明しています。ほかにも環境学習の一環として、小学校での分別説明や出前講座等を実施し、資源化を図り、ごみの減量へとつなげていきたいと考えています。



(事務局) 連合東京三多摩ブロック地域協議会
〒190-0012 立川市曙町2-15-20 三多摩労働会館5F
TEL 042-529-5550 FAX 042-529-5552